

H24. 9. 1

2種類の在宅医



長尾和宏 (ながお・かずひろ)
 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る、総合診療を目指す。医学博士。労働衛生コンサルタント。関西国際大学客員教授。54歳。ブログ(<http://www.nagaoclinic.or.jp/doctorblog/nagao/>)が好評。

在宅療養シリーズも最終回。今回はまとめです。もし在宅療養を望むなら、相性のいい在宅医を探すことです。しかし「医者なんて要らん！」という医者嫌いの方もいます。お気持ちは分かりますが、医者には必要です。主治医意見書がないと介護認定がおりません。また死亡したときに必要な死亡診断書は医者しか書けません。何？ 警察がいるからいいって？ いくら警察が入っても、死亡診断書や死体検案書を書くのはやはり

訪問看護師とケアマネ選びが要

前者が大半ですが、都市部では後者も増えています。「午後から在宅組」は、かかりつけ医として外来から継続して診ることが大半です。私も長く診ることが喜び。一方、「在宅専門クリニック」は文字通り、在宅医療に特化していて病院からの紹介が大半。末期がん専門とか神経難病専門とか、専門に分かれてきています。

このように2種類の在宅医師です。医師は偉そうにいい

さらに大切なのはケアマネジャー選びです。その人にあつたデイケアはどがいいのか、親切なヘルパーステーションはどこのか、本人や家族の希望にしっかり耳を傾けて相談に乗ってくれるケアマネを探しましょう。

訪問看護師とケアマネ探しに要するのが本シリーズの結論です。こうして本シリーズを書いている間に出版された「平穩死・10の条件」は早々に4刷り、ベストセラーになりました。お礼を申し上げます。

Dr.
和の町医者日記
 「在宅療養」シリーズ⑧
 《最終回》

り医師なのです。日本では生まれるときも死ぬときも、医者とかかわらないといけないのです。映画「おくりびと」には、医者はおろか看護師も1回も登場しません。人の生死に医療者は必要ない！ という強いメッセージは素晴らしい。裏に死亡診断書を書いている医者が必ず要

るのです。従って、うんと年老いたり衰弱したりしたら、主治医選びとは、自分の死亡診断書を書いてもらう医師を選ぶことでもあるのです。やはり納得のいく主治医を選んでください。ね。終わりよければすべてよし、なのです。

在宅医には2種類あります。朝夕の外来診療を行い、午後から在宅医療を回る昔ながらの開業医は、「午後から在宅組」と呼ばれています。私もそうです。一方、もっぱら在宅医療だけを行う診療所もあります。後者は在宅専門クリニックと呼ばれるます。

在宅医とはオーケストラに例えれば指揮者のような役割です。診察をして薬や注射や検査の指示を出し、患者や家族に説明し、介護意見書や死亡診断書を書くのが仕事。しかし実際に患者に寄り添い力になってくれるのは訪問看護師です。

訪問看護師とケアマネ探しに要するのが本シリーズの結論です。こうして本シリーズを書いている間に出版された「平穩死・10の条件」は早々に4刷り、ベストセラーになりました。お礼を申し上げます。

衰弱したりしたら、主治医選びとは、自分の死亡診断書を書いてもらう医師を選ぶことでもあるのです。やはり納得のいく主治医を選んでください。ね。終わりよければすべてよし、なのです。

在宅専門クリニック。もっぱら在宅医療のみを行う診療所。外来診療をほとんど行わずとも、法律上は診察室が必要で、週に1時間でも外来診察を標榜している。人口30万人程度以上の都市部で生まれつつある。